



ヤマハの革新的な
コネクテッドスクーター
TMAX

The future is exciting.

Ready?



ボードフォンは、コネクティドスクーターTMAX 向けにシームレスで包括的なテレマティクス ソリューションを提供

かつて車やオートバイを、これほどまでに現実的な理由で選択したことがあったでしょうか？

多くのドライバーやライダーは、車やバイクを感性で選んでいます。そして、メーカーもそれを良く理解しています。

近年の交通の革新によって、車両と所有者の感情的な繋がりがいっそう深まろうとしています。ヤマハでは、これをドライブ情報のリアルタイム更新やセキュリティアラート、パーソナルな利用状況レポートなどの提供により実現しています。

課題

ヨーロッパ全域でテレマティクスサービスを提供

自動車産業は劇的な変化を遂げています。メーカーが効果的に競争力を発揮するためには、絶えず進化するテクノロジーに遅れを取ることなく、カスタマーエクスペリエンスを向上できる新たな手段を取り込む必要があります。その大きな牽引力の1つになっているのが、車両の使用状況や位置に関して、リモートからのトラッキングを可能にする技術であるテレマティクスです。これはメーカーだけでなく、保険会社などの関連企業にとっても主要なトレンドになっています。

ヤマハはヨーロッパで最も人気の高いスクーターの1つであるTMAXを2001年に販売開始以来、これまでにおよそ25万台を販売してきました。いち早く新しいテクノロジーを取り込むことに注力するヤマハブランドにとってテレマティクスは正に追い求めていた領域の技術でした。

ヤマハは包括的なテレマティクスサービス、ドライブ中でもリモートからでも価値あるデータを共有できる新しいアプリを最新のTMAXモデルに搭載しました。開発段階で浮上した課題は、一度にヨーロッパ全域でサービスを導入および提供することが可能なテレマティクスプロバイダーを見つけることでした。

ヨーロッパ全域をカバー するネットワークと地域 ごとにサポートを提供する ことが可能なパートナーは ボードフォンだけでした。

ヤマハが求めた重要な要件は、ヨーロッパ全域のあらゆる都市や村においてスムーズかつシームレスな運用が可能で、道路を走る数千台ものTMAX 2017モデルが何の問題もなく接続できるということでした。ヨーロッパ全域をカバーするネットワークと地域ごとにサポートを提供することが可能なパートナーは、ボードフォンだけであり、ヤマハのプロジェクトには理想的なパートナーでした。

ソリューション

シームレスでセキュアなテレマティクス

ボードフォンでは、ハードウェア、IoT通信接続、コネクテッド車両サービス、カスタマーサポートを含む、包括的なテレマティクスソリューションをヤマハに提供しました。ヤマハの最新のTMAX SXやDXモデルには、Vodafone Automotiveが各モデルに合わせて設計・開発したテレマティクスが装備され、スクーターと完全に一体化したシステムの保証が受けられます。ディーラーでスクーターを購入する際、お客様は専用のカスタマーポータルからMy TMAXサービスを有効化し、数分で利用できるようになります。初年度の接続料は無料で、以降はサービスの更新を行うことができます。

スクーターのライダーは、本アプリケーションのスクーター発見機能を使って、遠隔からスクーターの位置を確認したり、バッテリーが減っている場合にアラートを受け取ったり、盗難防止のためにクラクションやウィンカーを作動させることができます。さらにアプリを使って、実際の運転状況をモニターしたり、スクーターの軌跡の地図表示し、設定した最大速度を超過したり、ジオフェンスを越えた場合にアラートを発生させることも可能です。

おそらくオーナーにとって最も重要なことは、TMAX SXとTMAX DXモデルが、Vodafone Automotiveの専用テレマティクスインフラストラクチャーとサービスのサポート体制によって、盗難から確実に守られているという点です。

車両オーナーに対するヤマハの新たなアプローチは、盗難にあった車両をリアルタイムで追跡できるというものです。ポータフォンと地域の警察の連携によって、確実に盗難車両を発見します。

車両が盗難に遭った場合、テレマティクスシステムは、Vodafone Automotive Secure Operating Centre にアラートを送り、直ちに追跡処理を有効にして、車両の移動をリアルタイムに追跡することで、地元の警察による捜索をサポートします。このサービスは、365日24時間、ヨーロッパ44ヶ国で対応が可能となっています。

ヤマハは、セキュリティ問題への対応と共に、より楽しいカスタマーエクスペリエンスの提供を実現します。ヤマハは、単純にA地点からB地点への移動手段を提供する以上の価値を、ドライバーが期待していることを知っています。Vodafone Automotiveのサービスでは、情報の提供や分析のためのアプリケーションを活用しながら、移動手段のあり方を向上させるための機能を提供しています。これは手間がかからず、信頼性も高く、ユーザーに人気のあるソリューションであるとヤマハは述べています。

今後の展望

新しいモニタリングアプローチ

ヤマハの新しいモニタリングアプローチでは、盗難車両をリアルタイムに追跡できるだけでなく、数多くのメリットを提供します。スクーターの使用状況を把握し、ドライバーにフィードバックすることで、よりスマートで低燃費なドライビングを可能にします。

一方ヤマハは、個人情報保護規制に完全に対応しながら運転習慣に関する集約データを取得し、ユーザーの好みやスクーターの利用状況に応じて製品の機能向上を図ることができます。

長期的には、エンジンのパフォーマンスを測定するためのオンボード診断機能といったテクノロジーの統合化を進め機能の拡充を図る予定です。これらの機能はヤマハが築き上げたプレミアムブランドに加えてVodafone Automotiveと関連するアプリによって構築されます。これにより、さらにカスタマーエクスペリエンスを向上し、ヤマハブランドに対するロイヤリティが高まることが期待されています。

本サービスに対するユーザーの反応は非常に好評で、この革新的なサービスをいかに拡張すべきかについて、ヤマハは更に検討を進めています。また、ポータフォンとの協業によりヤマハは新しいテクノロジーの最先端をゆく企業であり続けています。

まとめ

- ・ VodafoneAutomotiveは、ヨーロッパ全域でヤマハの新しいTMAXモデルに信頼性の高いテレマティクスサービスを提供しています
- ・ TMAX Connectによってドライバーは、スクーターの利用状況をモニターし、リモートからアクセスして使用状況に関する情報収集を行うことができます
- ・ 盗難に遭った車両は、リアルタイムで追跡できると同時に、ポータフォンが地元の警察と協力して確実にその発見に努めます

ヤマハ発動機について

- ・ 1955年に創立されたヤマハ発動機株式会社は、世界屈指のモーターバイクとスクーターの製造業者へと成長を遂げました
- ・ ヤマハの従業員は5万5,000名以上で、売上高は1兆5千億円を超えています
- ・ ヤマハTMAXは、ヨーロッパで最も人気の高い2輪車として、約25万台の販売実績を誇っています。
- ・ yamaha-motor.eu

vodafone.com/iot/japan

2018年 ボーダフォングループ

本書はボーダフォンが機密文書として発行するもので、事前にボーダフォンの書面による許可を得ずにその一部または全部を複製することは禁止されています。ボーダフォンのブランド名及びロゴはボーダフォングループの登録商標です。本文中に述べられているその他の製品名及び社名は、個々の所有者の登録商標です。本書中に含まれる情報は、印刷時点で適正なものです。この情報はボーダフォンによって予告なく変更され、サービス内容が修正、補足、削除されることがあります。全てのサービスは契約条件の対象となります。サービス契約書の写しは請求によって取得できます。